

# 市議会だより くるめ



交通ルールを守って安全・安心なまちを  
(10月8日 六角堂広場 ふれあい防災イベント・セーフコミュニティフェスタ)

第182号

平成28年  
11月1日発行

発行：久留米市議会  
編集：議会広報委員会  
久留米市城南町15番地3  
TEL 0942(30)9305  
FAX 0942(30)9720  
E-mail gikai@city.kurume.fukuoka.jp

重要無形文化財 久留米絣  
(公財)久留米絣技術保存会蔵

## 大雨の被害を受けた河川などの復旧工事等のため 平成28年度一般会計補正予算などを可決

平成28年

9月定例会号

### CONTENTS

- 定例会の概要 . . . . 2
- 市政に対する一般質問 . . . . 4
- 行財政改革調査特別委員会の活動状況 . . . . 7
- 常任委員会の活動状況 . . . . 8  
閉会中に実施した所管事務調査の概要をお知らせします
- 教えて！くるっぱ！ . . . . 12  
～議会に関するQ&A～



表紙の絣の模様は、毎号変えています。今回の作品名は「雅」です。

# 定例会の概要

9月5日から20日までの16日間の日程で、平成28年第3回定例会を開催しました。

5日は、市長から平成28年度久留米市一般会計補正予算、篠山小学校校舎・屋内運動場改築工事請負契約締結など15議案の提案説明がありました。

7日から12日までの本会議では、市政に関する事務の執行状況や将来の方針などについて、市長や教育長に一般質問を行いました。（☞4P）

13日には教育民生常任委員会と建設常任委員会、14日には経済常任委員会と総務常任委員会を開催し、それぞれの委員会に付託された補正予算議案や条例議案などを審査しました。（☞2P）

15日には議会運営委員会を開催し、本会議最終日の議会運営や、市長から追加で提出される議案の取り扱いを協議しました。

20日の本会議では、各常任委員会の議案審査結果報告があり、全ての議案を可決、または承認し、追加提出された教育委員会委員の任命などの人事議案についても同意しました。（☞3P）

そのほか、27年度決算に関する議案17件が提出され、定例会閉会後に決算審査特別委員会で継続審査をすることになりました。

また、教育民生常任委員会から提出された意見書を可決（☞3P）し、第3回定例会を閉会しました。

## 議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。ここでは、主な議案について、その内容と委員会における審査状況をお知らせします。

**可決！** ●第95号議案 篠山小学校校舎・屋内運動場改築工事請負契約締結、第96号議案 同電気設備工事請負契約締結、第97号議案 同機械設備工事請負契約締結について〔付託先：教育民生常任委員会〕

篠山小学校の改築について、入札により工事請負人を定めたため、それぞれの業者と契約するもので、新校舎は平成31年2月頃に完成予定です。

委員から「学童保育所を校舎の中に併設することだが、これからは全て同じ方向性で対応するのか」との質疑があり、学校施設課から「篠山小学校は、敷地の都合上、学童保育所が校舎の中に併設している。今後も、敷地に余裕がないような場合は、なるべく学校施設と併設する方向で考えている」との答弁がありました。



大雨により被害を受けた野添川の護岸



篠山小学校完成予想図

**可決！** ●第93号議案 平成28年度久留米市一般会計補正予算（第2号）〔付託先：建設常任委員会〕

6月及び7月の大雨により、被害を受けた道路や河川の復旧工事などのため、8,970万円を増額補正し、また、それらの工事のうち年度内の完了が見込めないものについて、繰越明許費を設定するものです。

委員から「今から工事を発注して、工事の完了は来年度のいつごろになるのか」との質疑があり、公園土木管理事務所から「地域住民に迷惑がからないように、できるだけ早く工事を進めていきたいと考えている。来年の梅雨に入る前の完成を目指したい」との答弁がありました。

可決!

●第93号議案 平成28年度久留米市一般会計補正予算(第2号)〔付託先:総務常任委員会〕

ふるさと・くるめ応援寄付の寄附額が想定を上回ったことに伴い、返礼品の購入などのため、6億円を増額補正するものなどです。

委員から「返礼品に、久留米シティプラザで開催される公演のチケットなど、久留米に来てもらえるものは考えられないか」との質疑があり、総務部総務課から「今後、久留米シティプラザで行われる公演などで、応援寄付の返礼品としてチケットを出せるものがあるか、シティプラザとも協議したいと考えている」との答弁がありました。

可決!

●第93号議案 平成28年度久留米市一般会計補正予算(第2号)〔付託先:経済常任委員会〕

バイオ関連産業の振興と国立研究開発法人理化学研究所の一部機能移転に向け、まず、第一段階となる理化学研究所と地域の大学等との共同研究を進めるため、1,125万3,000円の増額補正をするものです。

委員から「理化学研究所の地方移転は全国で6カ所の提案があっているが、実現に向けどのように取り組んでいくのか」との質疑があり、商工観光労働部から「理化学研究所が、今後の共同研究の中でメリットや費用対効果を検証した上で、移転の可否を判断する。また、国は5年間で共同研究の成果を出すよう求めているため、まずは、共同研究をスタートさせたいと考えている」との答弁がありました。

意見書

地方自治法に基づき、市議会の意思をまとめ、国会や関係行政庁に対して制度改善などを求める文書のことです。

次期介護保険制度改革における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書(要約)

平成27年6月30日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」(骨太方針)では、次期介護保険制度改革に向け、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しの検討が盛り込まれた。現行の介護保険制度による福祉用具、住宅改修のサービスは、高齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るという極めて重要な役割を果たしている。

仮に、軽度者に対する歩行器などの福祉用具、住宅改修の利用が原則自己負担になれば、特に低所得世帯等、弱者の切り捨てになりかねず、また、福祉

用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進展し、結果として介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自立的な生活を阻害し、給付費が増大するおそれがある。

以上の理由から、次期介護保険制度改革における軽度者向けの福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護度の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って、介護が必要な方の生活を支える観点から現行どおり介護保険の給付対象として継続することを強く求める。

同意した人事案件

市長が任命、選任または推薦する人事には、議会の同意を得なければならないものがあります。なお、敬称は省略しています。

●教育委員会委員

大牟田市 永田 見生

●固定資産評価審査委員会委員

津福今町 藤岡 廣子

●人権擁護委員

東合川町 田中 多門  
草野町 上野 喜代  
北野町 小坪喜代子

東町 田中健太郎  
安武町 仲 芳美  
三潨町 野田 洋子

城島町 安藤 愛  
野中町 江藤 正剛  
東合川八丁目 岡 美代子

大橋町 西村 英治  
田主丸町 石井 孝男

提出議案の審議結果は、ホームページでごらんいただけます。

久留米市議会 議案と結果

検索  クリック

今回は、食品ロス削減に向けた取り組み、幼稚園や認定こども園を活用した待機児童対策、シティブラザを生かしたにぎわいづくり、ボランティアを積極的に活用した環境啓発などについて、質問が出たっば。

## 市政に対する 一般質問



久留米市  
イメージキャラクター

くるっば



\*食品ロス削減に向けた取り組みは

公明党議員団 田中 貴子

**問** 循環型社会の構築や資源の有効利用などの観点から、食品ロスを減らす取り組みは重要である。そのためには、食育と環境教育の視点から学校給食の残食を減らす取り組みなどが大事であると考えているが、食品ロスの削減に向けた本市の取り組みを伺いたい。

**答** 本市では、これまで、PTAと連携した食育講演会の開催等を通じて食に関する指導の充実に取り組んできたほか、食物や資源を大切にしよう生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業等を推進してきた。

食品ロスの削減は、ごみの排出抑制の観点からも有効な手段である。そのため、くるめエコ・パートナーなどを協働して進めてきた市内事業者に対して、福岡県食品ロス削減県民運動への参加を要請し、食品ロス削減の取り組みを推進することとしている。

◎その他の質問…「婚姻の記念になるようなサービスの導入について」など



保育士の給与改善に向けた取り組みを

みらい久留米議員団 秋永 峰子

**問** 本市における保育士不足と待機児童を解消するためにも、保育士の人材確保に向けて給与改善に重点化した取り組みが必要であると考えている。保育士の給与改善に対する市長の考えを伺いたい。

**答** 保育士の給与水準は他の業種よりも低く、賃金や労働条件が希望と合わないことなど処遇面が保育士不足の主な要因である。また、本市よりも賃金が高い福岡市等に保育士が流出していることなども要因の一つと考えている。これまでも処遇改善に取り組むとともに、人件費の地域格差の問題については、市独自で厚生労働省への要望活動などを行っている。

今後も、保育士の給与改善に取り組むとともに、関係団体などから御意見をいただきながら、効果的な保育士確保策について検討していきたいと考えている。

◎その他の質問…「待機児童の実態把握について」など

食品ロス…規格外のため流通経路に乗らないものや、購入後に使いきれなかったなどの理由で、まだ食べられるにもかかわらず廃棄される食品のこと。

## 幼稚園や認定こども園を活用した待機児童対策は

緑水会議員団 森崎 巨樹



**問** 本市の待機児童は、昨年度の33人から今年度は78人に増加した。子どもの預け先は保育園だけではなく、幼稚園や認定こども園もある。これらを活用して待機児童や入所待ち児童を受け入れられないか。

**答** 幼稚園や認定こども園が預かり保育を実施することで、保育の受け皿の一部を担っていただいていると認識している。そのため、保育園に入所できなかった場合には、保護者の利用希望を聞いた上で、預かり保育等を実施している幼稚園や認定こども園の情報を提供している。

今後も、幼稚園や認定こども園の機能が最大限発揮されるよう、保護者へ情報提供を行うとともに、事業者にも意見を伺いながら、県と市の役割分担のもと、引き続き必要な支援に努めていきたい。

◎その他の質問…「市民への情報発信・共有政策に関して」など

## 工事成績評定のさらなる活用を

明政会議員団 山田 貴生



**問** 本市が発注している工事では、受注業者によって、時には仕上がりに差がありすぎるように思われる。本市は、工事終了後にできればと品質管理などを採点する工事成績評定を取り入れているが、その目的と活用について、市の考え方を伺いたい。

**答** 工事成績評定は、厳正かつ的確な評価を実施することにより、施工における品質確保、技術水準の向上を図ることを目的として実施し、結果については受注者に通知している。現在の取り組みとしては、毎年、工事成績上位15社を優良工事施工業者として表彰し、総合評価入札において加点を行っている。一方、評定点が60点を下回る受注者には、指名停止措置などを行い、厳しく対処しているところである。

今後は、現在の取り組みを踏まえ、関係団体の意見も参考に、評定の活用について検討を進めたい。

◎その他の質問…「認定こども園について」など

## 消防団員確保に向けた取り組みを

明政会議員団 権藤 智喜



**問** 消防団員は全国的に年々減少しており、本市でも団員の不足が課題となっている。

若い世代を確保するため、佐賀県や国東市のようにテレビやインターネットを活用した広報活動による入団促進の取り組みができないか。

**答** 若い世代の消防団員の確保に向け、地元の大学生を対象にした入団促進に努めてきた。また、市の広報紙やホームページへの掲載などによる消防団の魅力を紹介してきたほか、はしごのり演技の披露など、消防団活動を含めたPRを実施してきた。

今後は、他自治体の取り組みを参考にしながら、消防団をより一層PRできるよう、テレビやインターネットの活用を視野に入れた広報活動に努めていきたいと考えている。

◎その他の質問…「団員及びその家族への支援について」など

## 子どもの虫歯の実態は

日本共産党議員団 甲斐 征七生



**問** 本市の子どもについて、虫歯保有者の割合と虫歯の治療をしていない未処置者の割合はどれくらいか。また、その割合は、全国や県と比較してどのような状況なのか。

**答** 本市における虫歯の治療が完了した者と未処置の虫歯がある者を合計した虫歯保有者の割合は、平成26年度の学校保健統計によると、小学生男子59.6%、女子55.9%、中学生男子46.9%、女子47.2%、市立高校生男子60.8%、女子70.5%となっている。また、未処置者の割合は、小学生男子32.1%、女子29.8%、中学生男子28.5%、女子26.6%、市立高校生男子31.9%、女子28.2%となっている。

これらの数値を全国平均と比較すると、どの年代も高くなっている。また、県平均と比較すると、一部は低いものの、おおむね同様の傾向となっている。

◎その他の質問…「訪問介護サービスについて」など

総合評価入札…入札者が示す価格と価格以外の要素（工品の品質確保、安全管理などの技術提案、施工実績などの企業の能力、配置技術者の能力）を総合的に評価し、落札者を決定する方法のこと。



### 交流人口の拡大に向けた地域の魅力発信策は

明政会議員団 吉富 巧

**問** 本市には、自然や歴史、文化など多くの観光資源がある。北野地域にも、コスモス街道や酒蔵などの多くの観光資源があり、交流人口の拡大に重要な役割を果たしている。さらなる交流人口の拡大には、効果的に地域の魅力を発信することが重要であると考えるが、今後の取り組みについて伺いたい。

**答** 北野地域は多種多様な資源に恵まれており、多くの方に来ていただきたいと考えている。そのためには、地域の魅力の効果的な発信が大変重要だと認識しており、これまでも「くらの細道きっぷ」など、北野地域を中心とした魅力の発信を支援してきた。

今後は、これまでの支援を継続するとともに、散策マップの作成や福岡都市圏からのモニターツアーの企画等、恒常的な誘客や周遊性を高める仕組みづくりにも積極的に取り組んでいきたいと考えている。

◎その他の質問…「土地利用型農業について」など



### 西鉄津福駅に駅前広場の整備を

明政会議員団 田住 和也

**問** 西鉄津福駅は、1日平均約2,600人の乗降客があるが、駐車、送迎待ちができるスペースがほとんどない。市として、送迎等の寄りつき機能を持つ駅前広場の整備をどのように考えているのか。

また、駅から駐輪場まで距離があるが、この間の防犯灯の設置や道路整備等の環境整備ができないか。

**答** 西鉄津福駅は、タクシーの待機所はあるが、一般の方の送迎は、道路上で行われている。本市では、今後、ネットワーク型のコンパクトな都市づくりを推進していくこととしており、津福駅を含めた駅のあり方について検討していきたいと考えている。

また、駅から駐輪場までの環境整備については、道路の特徴や利用形態を踏まえながら、地域の皆様と協議していきたいと考えている。

◎その他の質問…「認定こども園（幼児教育）について」など



### シティプラザを生かしたにぎわいづくりを

久留米たすき議員団 甲斐田 義弘

**問** 久留米シティプラザが開館し、多くの人を訪れている。年間を通して中心市街地ににぎわいをつくり出すためにも、シティプラザや六角堂広場を会場にした、イルミネーション事業や冬場の土曜夜市などのイベントを開催できないか。

**答** 本市では、商店街と隣接する六角堂広場を活用したイベントを開催するとともに、「まちなか遊園地」などの遊びや憩いの場を提供するなど、年間を通した日常的なにぎわいづくりに取り組んでいる。また、商店街でも顧客の獲得に向けて「100円商店街」の開催など、積極的な取り組みを行っている。

今後は、人の外出が少なくなる冬場の対策として、商店街などと連携し、中心市街地の冬場のにぎわいづくりを検討したいと考えている。

◎その他の質問…「認定こども園の位置づけについて」など



### 1、2歳児へB型肝炎ワクチン接種の助成を

公明党議員団 太田 佳子

**問** 今年10月から0歳児を対象にB型肝炎ワクチンが定期接種化される。B型肝炎ウイルスは3歳までに感染するとキャリア化しやすいとされている。そのため、今回の対象から外れた1歳児と2歳児へ予防接種費用の助成ができないか。

**答** B型肝炎は、特に1歳未満児の感染がキャリア化しやすいことから、予防接種による感染防御が有効であるとされている。予防接種は、疾病予防などの観点から大きな利益がある一方で、極めてまれではあるが、副反応による健康被害が発生している。

そのため、B型肝炎ワクチンの定期接種化については、国の慎重な検討の結果、生後1歳になるまでを対象にしている。まずは、国が定めた方針にのっとり、対象者全員のワクチン接種に努めていきたい。

◎その他の質問…「人工内耳機器の買い替え、修理、及び電池購入費用の助成について」など

キャリア化…B型肝炎ウイルスに感染し、治癒されず、また、痛みや違和感などの自覚症状がないまま体内にウイルスが残った状態のこと。現在、成人になってB型肝炎による慢性肝炎や肝硬変、肝がんで苦しんでいる人の多くは、乳幼児期の感染が原因とされている。

## ボランティアを積極的に活用した環境啓発を

みらい久留米議員団 古賀 敏久



**問** 宮ノ陣クリーンセンター内の環境交流プラザでは、ボランティアの環境交流プラザサポーターが、体験学習を企画する等、積極的な活動が好評である。市民との協働を支える大きな柱となるボランティアについて、サポーターの状況と今後の展開を伺いたい。

**答** 現在、18人のサポーターが、施設の見学案内や展示解説、講座の企画や講師などの活動をしている。このサポーターは、市民の環境に関する学びの支援と活動の輪を拡大していくための環境ボランティアとして育成しており、将来的には、地域で自主的・自立的に活動していただくことを目標としている。

そのため、環境ボランティアとしての知識や技術の向上に向けた研修等を行いながら、市民の皆様との協働による環境啓発を推進したいと考えている。

◎その他の質問…「個人住宅耐震補強工事の促進について」など

## 地方創生の今後の取り組みは

緑水会議員団 田中 多門



**問** 本市の、市内関係機関などと連携し、いち早く久留米市キラリ創生総合戦略を策定するとともに、国からの財源確保の積極的な取り組みは評価する。

今後、持続可能な総合戦略とするために、人口動向や分析、これまでの取り組みを踏まえ、どのように施策を展開していくのか。

**答** 総合戦略では、施策横断的な4つの政策パッケージを最重点課題に位置づけている。政策を推進し、人口維持などの成果につなげるには、戦略性を持ったプロモーションが重要であると考えている。

今後は、子育て世代をメインターゲットに、福岡市での魅力発信イベントの開催や、東京で開設予定のアンテナショップを拠点とした情報発信など、戦略的なプロモーション活動に取り組んでいきたい。

◎その他の質問…「広域幹線道路の整備促進と土地利用政策について」など

## トップアスリート育成で市民に感動を

久留米たすき議員団 大熊 博文



**問** オリンピックに出場するようなトップアスリートを育成することで、出身地である本市が全国的に有名になると考える。本市を広く知っていただき、市民に感動や元気を与えるような、トップアスリートの育成にどのように取り組んでいるのか。

**答** 本市では、小中学生を対象に県が実施するアスリート育成事業に、毎年数名が選抜されて参加している。また、南筑高校では、部活動と学習の両立を図るためのコースを新設し、ジュニアの世界大会で活躍する生徒も在籍している。

今後は、久留米スポーツセンター内の体育館などの完成を契機に、全国大会などを誘致するとともに、国県と連携して、将来、トップアスリートとなる子どもたちへの育成支援の取り組みに努めていきたい。

◎その他の質問…「耳納北麓(職遊一体型)グリーンアルカディア創生パッケージについて」など

## 行財政改革調査特別委員会の活動状況(8月)

### ▶ 8月3日

▷「過去の合併における支所・出張所の再編・統合の経緯」について、昭和18年から42年までに合併した旧御井町及び旧善導寺町、旧筑邦町などを事例として、人事厚生課から説明を受けました。また、これまでの調査の経過を踏まえ、各委員が意見を述べました。その後、市長への提言に向け、各会派としての意見を取りまとめることとしました。

### ▶ 8月26日

▷委員が各会派で取りまとめた意見を述べました。そして、その意見を踏まえて、提言の素案の検討に入ることとしました。

# 常任委員会の活動状況（7月～8月）

## 総務常任委員会

▶7月27日

### ▷地域コミュニティについて

本市が「協働によるまちづくり」を進めるに当たり、その最大のパートナーである自治会や校区コミュニティ組織などの現状や課題、取り組みについて、地域コミュニティ課から説明を受けました。

**Q** 自治会加入促進のために、加入者に対し、市として特典をつける取り組みはできないか。

**A** 自治会加入の有無によって、公共サービスに差をつけることは難しいと考えるが、特典について、どのようなことが取り組めるか研究したい。今後も、自治会の意義や必要性を理解してもらい取り組みを進めながら、加入の働きかけを行っていききたい。

**Q** 広報くるめの配布など、市から自治会にお願いしている仕事が多過ぎると思うが、市はどのように考えているのか。

**A** さまざまな取り組みを地域と連携しながら、まちづくりを行っている。地域の負担が大きいと認識しているが、実情に合わせてやり方を工夫している自治会もあるので、そのような取り組みを紹介しながら、自治会と協力してまちづくりを進めていきたい。



自治会への加入を促すチラシ

▶8月26日

### ▷セーフコミュニティの取り組みについて

「安全安心のまちづくり」を進めるために、市民と協働して取り組んでいるセーフコミュニティの効果や課題などについて、安全安心推進課から説明を受けました。

**Q** セーフコミュニティの交通安全分野で、高齢者の免許証返納者を支援する取り組みはできないか。

**A** 免許証返納者に対して、バス事業者からは運賃の割引などが実施されているが、市として、どういう取り組みができるか、今後、対策委員会でも検討していききたい。

**Q** 近年、社会問題になっているストーカー被害について、セーフコミュニティの中でも対策を協議すべきだと思うが、いかがか。

**A** ストーカー被害が社会問題になっていることは認識している。今年度、取り組み分野・項目などの見直しを行う予定にしているので、今後、現状分析をする中で検討していききたい。



高齢者向けの交通安全運転講習



## 教育民生常任委員会

### ▶ 7月20日

#### ▷ 地域包括ケアシステムについて

高齢者が重度の要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築への取り組みなどについて、健康福祉部から説明を受けました。

**Q** 認知症支援ガイドブックが作成されているが、現在の普及状況はどうなっているのか。

**A** 昨年度、2万部作成し、認知症に不安のある高齢者やその家族を支援する地域包括支援センターを初め、医療機関や相談窓口、民生委員などにその趣旨を説明しながら配布している。それにより、支援する側がガイドブックの中から必要な情報を伝えていく形で活用してもらえればと考えている。

**Q** 地域の人が助け合う互助の体制をつくることだが、地域にとって負担がふえるのではないか。

**A** 今後、高齢者の割合がますますふえていく中、地域ぐるみで高齢者を持続的に支え合う仕組みが必要である。ただし、数値目標を定めて、いつまでに取り組むというのではなく、これまで取り組んでいるものを生かして、その地域でできることを考えてくださいというお願いをしている。今後も地域の理解を得ながら進めていきたいと考えている。



地域ぐるみで取り組むふれあい食事会

### ▶ 8月25日

#### ▷ 久留米市の子どもの貧困対策の現状について

子どもの貧困に関連する本市の状況や、主な取り組みなどについて、子ども政策課から説明を受けました。

**Q** 子ども食堂の取り組みについて、安武校区や東国分校区での参加人数はどの程度か。また、子ども食堂に対する補助が今年度から始まったが、利用状況はどうなっているのか。

**A** 子ども食堂は、安武、東国分を含め、把握しているだけで7カ所ある。一回あたり安武では約60名、東国分では約70名が参加されている。補助金については、現在4カ所で活用されていて、食材費の捻出に苦労していたので助かっているとの声もあるなど、おおむね好評である。また、新たに開設を考えている所も幾つかあり、情報収集に努めているところである。

**Q** 子どもの貧困対策は、子ども未来部だけを窓口として進めるのではなく、教育や福祉を含めた総合的な対策会議などで取り組みを強化するべきではないか。

**A** 子どもの貧困対策は、さまざまな部局がかかわっており、関係する部局間の連携を前提に取り組んでいく必要があるため、昨年、「子どもの貧困対策庁内連絡会議」を立ち上げている。この会議を基本として、情報の共有や今後の方向性について部局間で連携を取りながら、全庁的にしっかり取り組んでいきたい。



子ども食堂で食事を提供するボランティアの皆さん

# 常任委員会の活動状況（7月～8月）

## 経 済 常 任 委 員 会

▶ 7月26日

▷ 南部浄化センターにおける放流水の水質状況等について

生活排水などの汚水を安定的に処理し、安全できれいな水として川へ放流するため、市内3カ所に設置している浄化センターのうち南部浄化センターの現状と課題などについて、下水道施設課から説明を受け、その後、現地調査を行いました。



下水処理設備の制御や監視を行う中央監視室

**Q** 浄化センターは、現在、部分的に施設の改修などを行っているが、施設などの耐用年数はどのようになっているのか。また、施設の改修などについてどのように考えているのか。

**A** 施設の耐用年数は50年、機械や設備関係は15年から20年とされている。施設の改修にあたっては、補助金を活用しながら長寿命化を図ってきた。今後は、平成29、30年度の2カ年でストックマネジメント計画を策定し、浄化センターやポンプ場、管路等の改修などに取り組んでいきたい。

※ストックマネジメント計画…既存の建築物など（ストック）を有効に活用し、施設の社会的需要や老朽度の判定、改修時の費用対効果等を総合的に判断した上で、改修や改築など、施設全体の効率的な維持管理を図る計画のこと。

▶ 8月24日

▷ 上水道の計画的な管路更新と耐震化について

水道水の安定供給の確保に向けた主な取り組みである、漏水防止を目指した管路の更新と地震災害時における被害軽減を目指した施設の耐震化について、上水道整備課から説明を受けました。

**Q** 施設の耐震化などの費用は、水道料金収入で賄わなければならないが、今後の財源についてどのように考えているのか。

**A** 水道事業の財源は、主に水道料金収入と借入金である。今後の施設の耐震化や未普及地域への水道普及事業などには多くの費用が必要になる。そのため、計画的に事業を行っていくことが重要であり、中期経営計画の中で資金的な検証を行いながら事業運営を行っていきたいと考えている。

**Q** 企業局には、大きな災害などに対応できる経験豊富な技術職員が少なくなっているが、技術の継承についてどのように考えているのか。

**A** 水道については、設計や断水時の対応は職員が行っており、技術は継承されていると考えている。また、水道管などの修理は、現在、業者に委託しているが、職員に対して技術研修などを行い、ノウハウは残していきたいと考えている。



漏水箇所の断水のため作業を行う職員

## 建設常任委員会

▶ 7月21日

### ▷ 立地適正化計画の策定について

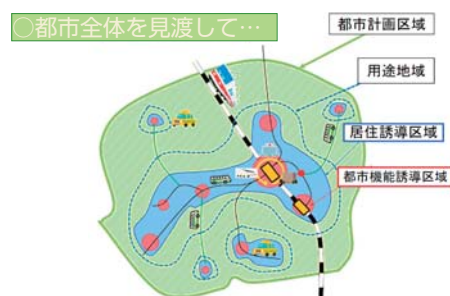
人口減少と超高齢社会の進行による店舗や病院などの減少、公共交通の撤退・縮小などの課題がある。それらの課題に対応するため、人口密度を維持し、日常生活に必要なサービスを効率的に受けられるコンパクトで持続可能なまちづくりを進める立地適正化計画の策定について、都市計画課から説明を受けました。

**Q** 計画で定められる区域外に店舗や病院を建てようとする場合、立地や規制を設けたりすることはしないのか。

**A** この計画は、建物の立地や規制を設けるものではない。区域内へ商業施設や医療施設といった都市機能を緩やかに誘導し、長期的な展望に立ってまちづくりを進めるものである。

**Q** 将来の人口減少を見据えて都市機能を集約していくことは理解できるが、高齢者対策や空き家対策など、既存の施策とのバランスをどのように考えているのか。

**A** 2050年には市全体の高齢化率が40%を超えるという状況の中で、立地適正化計画の趣旨は、今後20年をかけて緩やかに都市を改造していこうというものである。そのため、今後計画を進めていく中で、福祉関係や都市計画における施策の見直しにもつながっていくと考えている。



立地適正化計画イメージ図  
(国土交通省 HP の掲載図を一部加工)

▶ 8月23日

### ▷ 久留米市住生活基本計画の見直しについて

市民が安心して生活できる住まいづくりとまちづくりを計画的に推進することを目的として、平成23年度に策定した住生活基本計画の見直し案について、住宅政策課から説明を受けました。

**Q** 市内の<sup>\*</sup>空き家の戸数を、平成25年度の5,330戸に対し、30年度時点で増加率13%の6,000戸に抑えるという目標を立てているが、どのように取り組んでいくのか。

**A** 空き家の所有者を特定し、直接働きかける取り組みが必要である。具体的には、賃貸や売買、撤去などを促すことで、空き家の増加を抑制することができるのではないかと考えている。

※空き家…ここで言う空き家は、所有者が居住せず撤去費用を準備できないなどの理由で放置されている住宅のこと。

**Q** 市営住宅に入居する高齢者が上の階から下の階へ住みかえる際に、同じ地域での住みかえを最優先にするなどの対応はしているのか。

**A** 入居者からの申し出については、身体状況などを聞き取り、個別の相談で対応している。同じ地域への案内を基本としているが、住みかえ希望者が非常に多いため、急を要する場合などは、他の地域を案内することもある。



入居者の住みかえ希望に対応を行っている市営住宅

# 教えて！くるっぱ！ ～議会に関するQ&A～

**Q** 本会議での議員から市長などへの一般質問は、市議会だよりに掲載されている質問（4P～7P）以外にもしているの？

**A** 市議会だよりに掲載しているのは一部で、市のいろいろなことについて質問しているよ。今年の9月からは定例会の始まる日には、久留米市議会のホームページで一般質問の全項目を見ることができるようになったよ。

**Q** 定例会や臨時会の本会議の内容を記録している本会議録は、どこで読むことができるの？

**A** 市役所1階の行政資料閲覧コーナーや、市立図書館などで本会議録（冊子）を読むことができるよ。また、久留米市議会のホームページから、平成19年5月以降の本会議録を検索できるよ。

**Q** 次回の定例会の日程（予定）は、いつ、どこを見ればわかるの？

**A** 今年の9月から、定例会終了後に、次回の定例会の日程（予定）をホームページで見ることができるようになったよ。また、市議会だよりでもお知らせしているよ。



一般質問の項目や定例会の日程（予定）、本会議録は、ホームページでごらんいただけます。

久留米市議会

検索

クリック

## 次回の定例会（予定）のお知らせ

今回は、12月2日（金）から16日（金）の期間で開催する予定です。全ての日程の開催時刻は、午前10時を予定しています。なお、日程は予定ですので都合により、変更されることがあります。

- 12月2日（金）…議案の提案説明など
- 6日（火）…一般質問など
- 9日（金）
- 12日（月）…常任委員会（教育民生・建設）
- 13日（火）…常任委員会（経済・総務）
- 16日（金）…審議採決など



## 議員が寄附すること、議員に寄附を求めることは禁止されています。

公職選挙法では、選挙区内の者に対し、次のようなことを禁止しています。

- 議員や後援会が、寄附をしたり有料の挨拶広告を出すこと
- 議員や後援会が、お中元やお歳暮を贈ること
- 議員が、年賀状や暑中見舞いなどの挨拶状を出すこと（自筆の答礼は除く）
- 市民や団体が、議員に寄附などを求めること

問い合わせ先  
選挙管理委員会事務局  
TEL 0942-30-9238



「市議会だよりくるめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。